

ゴールデンウィーク中の防疫対策の徹底について

ゴールデンウィーク中は、海外悪性伝染病の病原体が日本国内に侵入するリスクが特に高くなります。また、国内においても、鳥インフルエンザ・豚熱の発生リスクが高く、警戒の継続が必要です。

【高病原性鳥インフルエンザ】

昨年10月28日以降、26道県84事例で確認されており、4月以降も発生が確認されています。昨年は5月にも発生があり、引き続き警戒が必要です。

【豚熱】

野生いのししでの感染が続いており、飼養衛生管理の徹底、適時・適切なワクチン接種、野生いのししのサーベイランス等の対策が重要です。

本年3月には約半年ぶりに豚飼養農場における発生が確認されており、これから野生いのししの活動が活発化することを踏まえた継続的な対策が重要です。

【アフリカ豚熱（ASF）・口蹄疫（FMD）】

近隣国での発生が継続・拡大、新型コロナウイルス感染症に関する入国規制の緩和（R4.10月）以降の入国者の増加、入国者が違法に持ち込もうとした豚肉製品からASFウイルスが検出されていること等を踏まえ、水際対策と併せて、発生防止対策を徹底することが重要です。

～ 家畜飼養者のみなさま、以下について徹底願います～

▷海外渡航の自粛

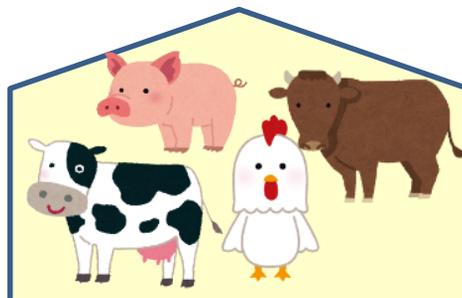
- ・アフリカ豚熱・口蹄疫等の発生地域への渡航自粛をお願いします。

▷衛生管理区域及び畜舎内への病原体持込みの防止

- ・必要のない人を立ち入らせず、不要な物を持ち込まない
- ・衛生管理区域や畜舎へ立ち入る場合は、専用の手袋・靴の着用、手指・物品の消毒等を実施
- ・野生動物侵入対策の実施

▷毎日の健康観察、早期発見及び早期通報の徹底

- ・家畜の異状（特定症状）を認めたら、速やかに当所へ連絡してください。



京都府中丹家畜保健衛生所 **※早期発見・早期通報をお願いします！**

TEL 0773-25-1860（休日・夜間は転送されます） FAX 0773-25-1861